

＜第22回＞

2011年の世相を反映した

『創作四字熟語』50編

東日本大震災により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

住友生命保険相互会社（社長 佐藤義雄）は、2011年の世相を的確に表現した『創作四字熟語』を広く一般から募集しました。

この企画が生まれたのは、今から21年前。1年の出来事を漢字四文字で振り返るという、いわば『ことばの遊び』を提唱したところ、多くの人々の共感を呼び、“その年に感じたことを漢字に託す”という全く新しい概念が誕生しました。

22回目を迎える今回は、全国から11,023作品が寄せられました。

以下は、ご応募いただいた作品についての集計と審査結果です。

〔募集概要〕

- 募集期間 2011年9月26日～10月31日
- 有効作品数 11,023作品
- 募集地域 全国（47都道府県）
- 募集方法 ハガキ、当社規定の応募用紙、インターネット、携帯電話による応募。
記入事項は、未発表の作品およびその読み方、元のことばと簡単な説明。
- 審査員 俵 万智（歌人）
- 作品応募者の内訳（複数回答）

全体	男性	女性	不明	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～	不明
11,023	8,221	2,795	7	130	889	2,162	2,511	2,529	2,787	15
100.0	74.6	25.4	0.1	1.2	8.1	19.6	22.8	22.9	25.3	0.1

上段＝作品数、下段＝構成比（％）

〔作品傾向〕

- 応募作品の内容（ジャンル別）
 - 1) 政治 （首相交代、失言、震災復興対策、大阪ダブル選挙など） 2,417作品(21.9%)
 - 2) 経済 （円高、金価格高騰、株安、節電、地デジ、TPP問題など） 765作品(6.9%)
 - 3) 社会 （東日本大震災、復興支援、台風、九州新幹線開通など） 5,074作品(46.0%)
 - 4) 国際情勢 （反政府デモ、欧州財政問題、英ロイヤル婚、タイ洪水など） 548作品(5.0%)
 - 5) 文化・スポーツ （女子サッカーW杯、世界遺産登録、大相撲、野球など） 1,260作品(11.4%)
 - 6) 流行・芸能 （スマートフォン、AKB48、K-POP、人気子役など） 959作品(8.7%)

〔今年の傾向〕

東日本大震災、原発事故、節電の夏

3月11日、三陸沖を震源に国内観測史上最大の巨大地震が発生しました。海岸線に押し寄せた大津波はたくさんの尊い命を奪い、美しい故郷を飲み込み、日本に暗い影を落としました。

この「**天地震迷**」により、大勢の方が避難先で「**帰郷村望**」となり、私たちの生活や考え方も一変しました。福島第一原発事故による「**電力供窮**」が、「**計欠停電**」の実施や電力使用制限令発動等の混乱を招き、定期点検等で停止した原発の再稼動が見込めないまま猛暑に突入。しかし、従来の“クールビズ”を超えた「**超涼格好**」や、エアコン使用を控えた「**扇風満帆**」、企業の輪番休業などによる「**電考節夏**」で、皆が一丸となって乗り切りました。

またもや日本の顔が交代、新たな“どじょう内閣”に期待

震災・原発事故対応に追われる菅内閣は、復興を担う組織や財源を定める「**法成復興**」に奔走するものの、初動対応等を批判され退陣。実に、5年間で6人の「**年々辛辛**」を生む事態となりました。

次にバトンを受け取ったのが、「**賢泥鎗来**」の野田首相です。「適材適所」と言った組閣が大臣の「**舌禍繚乱**」で大打撃を受けるものの、11月のアジア太平洋経済協力会議（APEC）において、世界に「**鎗名披露**」を果たしました。しかし、復興支援や財政問題、環太平洋経済連携協定（TPP）の「**参否農論**」等、課題は山積です。国民のための泥臭いどじょうの政治を、是非お願いします。

一方、地方政治では、大阪が「**府市騒然**」のダブル選で大いに盛り上がり、大阪都構想を掲げる維新の会が圧勝しました。

恐るべき自然の猛威、“帰宅困難者”が続出

大災害は地震ではありません。超低速の「**滞風溢禍**」による記録的豪雨は、土砂災害や浸水、河川の氾濫などをもたらし、各地に大きなつめ跡を残しました。また、震災時と同様、首都圏を中心に交通網が寸断され、帰宅の足を奪われた人たちが「**帰路騒然**」に。何時間もかかる徒歩帰宅や、会社に泊まった方も多かったようです。

「**天威無法**」は国内だけではなく、日本企業が多く進出しているタイも「**一面泰水**」となり、深刻な被害を受けました。

広がる“タイガーマスク運動”、なでしこが大輪の花を咲かせる

国内では、年明けから明るいニュースもありました。アースマラソンに挑戦していた間寛平さんの「**寛全燃走**」や、頻発した全国各地の「**贈答虎面**」、そして、上野には3年ぶりに「**日中熊交**」のパンダが！その愛くるしい姿に、大きな歓声があがっています。

3月には、九州新幹線が全線開通。青森－鹿児島間の縦断を実現させた「**一軌鹿青**」に、地域の活性化や、国内旅行による内需拡大が期待されます。

そして、なんと言っても震災後の日本に最も元気を与えてくれたのは、「**見事撫子**」のサッカー女子W杯初優勝です。粘り強く、「**才足兼美**」な彼女たちのプレーに、日本中が熱狂しました。

6月には、「小笠原諸島」と「平泉の文化遺産」が、嬉しい「**遺産双属**」に。中でも、平泉は東北地方初の世界文化遺産登録となり、震災復興への大きな励みとなっています。

“アラブの春”、海外で民主化運動やデモが多発

海外では、イギリスが「**英王栄嫁**」とロイヤルウェディングで沸き、キャサリン妃の美しすぎる花嫁姿に、世界中が魅せられ、祝福しました。

華やかムードとは一転、北アフリカ・中東地域では、反政府デモや抗議活動の「**春渦中東**」が活発化し、長期政権を崩壊に追い込むなど、激動の一年となっています。

経済面では、ギリシャの財政危機による「**欧州憂慮**」が世界各国に波及。日本も深刻な「**円延超高**」を止めるべく為替介入を行います。一方、株価の下落で脚光を浴びた金の価格は高騰。「**金価雀躍**」と貴金属を売りに出かける人の姿も目立ちました。

地デジ移行の「**機器買替**」により家電量販店は大賑わいでしたが、今年一番のヒット商品と言えば、やはり「**情報掌収**」に長けたスマートフォンです。その生みの親である米アップル社の前CEO、スティーブ・ジョブズさんが10月に逝去され、世界各地で「**i悼之意**」が捧げられました。業界の変革を主導し続けたカリスマ経営者のご冥福を、心よりお祈りいたします。

世界に誇る日本の技術、アスリートも大活躍！

昨年の事業仕分けで話題になった、スーパーコンピューター「京」。「2位じゃだめなんです！」と計算速度で「**世界最京**」になり、日本の技術力の高さを世界にアピールしました。

スポーツ界の世界一は、なでしこだけではありません。体操の内村航平選手が、世界選手権で前人未到の「**偉業三冠**」を達成。彼のダイナミックで美しい演技に、世界中が魅せられました。また、世界陸上の男子ハンマー投げでは、室伏広治選手が見事「**取金広治**」に成功。ロンドン五輪での活躍が楽しみです。

野球では、イチロー選手の米大リーグ年間200安打記録が「**十年一休**」に。偉業に一区切りとなりましたが、来期の巻返しを期待します。プロ野球セ・リーグでは、中日ドラゴンズが大逆転優勝。今シーズンで勇退した落合監督の「**竜終之美**」を飾りました。

有終の美と言えば、大相撲で通算勝星最多1047勝を達成した大関魁皇関が土俵を後にしました。一時、大関以上の日本人不在という寂しい事態になりましたが、琴奨菊関の大関昇進による「**魁退進奨**」で、角界も人気回復となるでしょうか。

元気いっぱいアイドルグループ、人気子役がお茶の間を笑顔に

米経済誌の「世界のセレブ番付」で、米女性歌手のレディー・ガガさんが1位になりました。奇抜なファッションとパフォーマンスはまさに「**我我独尊**」ですが、被災地支援にも積極的に貢献し、観光庁長官表彰を受賞しました。

総選挙や「**中央集拳**」で、連日テレビを賑わすAKB48。シングルCDも、3作連続ミリオンセラーと一人勝ち状態です。それに対抗する「**歓轉楽楽**」のK-POP軍団も、リズムカルなメロディとダンスで大人気となりました。また、今年は「**子群奮闘**」の活躍もめざましく、人気子役たちがドラマ・CM・歌にと大忙しです。

「**楽舞注入**」が功を奏したのか、芸能界では「**熟年差婚**」が続出しました。愛があれば年の差なんて！どうかいつまでもお幸せに。

世界中からの支援に感謝、強い“絆”を糧に復興を誓う

あまりに多くのものを失った東日本大震災——その悲しみや傷痕を、私たちは癒すことも、忘れることもできません。しかし、国内や世界各国からの「**満援御礼**」の支援活動や、「**愛円義援**」、応援メッセージ等を通して、私たちは人と人との強い“絆”を結ぶことができました。また、名勝「高田松原」の“奇跡の一本松”も、依然回復が危ぶまれる状況ですが、復興の象徴として「**一松懸命**」、人々に希望を与え続けてくれています。

「**願晴東北**」への想いは、皆一緒です。この“絆”を大切に、長く、絶え間ない「**福幸支援**」で、一日も早く元気な日本へと再生していきましょう。

以上

◆◇◆ 優秀作品 10 編 ◆◇◆

(敬称略・順不同)

てんいむほう
天威無法
(天衣無縫)

大震災・大津波・大雨洪水。天の威力の前になす術がない。

奈良県・村上 三佐子 (67 歳)

きろそうぜん
帰路騒然
(理路整然)

帰宅困難。大地震に続き台風でも。

埼玉県・横山 絵里花 (22 歳)
東京都・中村 哲也 (50 歳)
東京都・野沢 佐奈江 (48 歳)

あいえんぎえん
愛円義援
(合縁奇縁)

震災で、海外からも多くの義援金が寄せられた。

大阪府・松原 敬二 (41 歳)
東京都・貴田 千鶴 (29 歳)

いっしょうけんめい
一松懸命
(一生懸命)

一本の松が復興のシンボルとしてがんばっている。

和歌山県・中芝 聡 (34 歳)
東京都・三上 透 (49 歳)
東京都・島 正夫 (79 歳)

でんこうせつか
電考節夏
(電光石火)

電気についてみんなよく考えた、節電の夏。

東京都・武井 晶子 (37 歳)
福岡県・一瀬 智代子 (51 歳)

きんかじゃくやく
金価雀躍
(欣喜雀躍)

金価高騰で喜ぶ人。

北海道・寺田 昭夫 (66 歳)

ねんねんさいさい
年々宰宰
(年年歳歳)

毎年のように総理大臣(宰相)が変わる。

神奈川県・山口 喜代司 (62 歳)

ぜっかりょうらん
舌禍繚乱
(百花繚乱)

政治家の失言が入り乱れた。

愛知県・鬼頭 稿 (40 歳)

じゅくねんさこん
熟年差婚
(熟年離婚)

年の差を気にせず若い恋人と結婚する人が目立った。

奈良県・鈴木 陽一 (70 歳)

さいそくけんび
才足兼美
(才色兼備)

「なでしこジャパン」の活躍。

新潟県・高山 恵美 (29 歳)

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
社	天地震迷 てんちしんめい	地震・津波・原発事故・台風など、これからどうなる？ 大阪府・北山 智啓 (59歳) 東京都・金子 いづみ (49歳)	天地神明
	帰郷村望 ききょうそんぼう	避難している人々が、故郷の町や村に帰れることを望んでいます！ 東京都・岩瀧 悦子 (51歳)	危急存亡
	満援御礼 まんえんおんれい	被災国日本へ、世界中から寄せられた多大な援助への感謝。 東京都・山本 静子 (60歳)	満員御礼
	福幸支援 ふっこうしえん	今年は災害がたくさん起こった。その「復興」が「福幸」でありますように！ 新潟県・石平 笑子 (37歳) 埼玉県・藤本 佳子 (46歳) 埼玉県・細矢 瑞枝 (47歳) 千葉県・松田 久仁子 (62歳)	復興支援
	願晴東北 がんぱれとうほく	東北の地に「晴れ」を願う。 北海道・山重 真一 (56歳)	頑張れ東北
	滞風溢禍 たいふういっか	移動速度が非常に遅い台風襲来。 青森県・池田 毅 (58歳)	台風一過
	一軌鹿青 いっかかせい	鹿児島から青森まで新幹線でつながった。 大阪府・松原 敬二 (41歳) 東京都・中村 哲也 (50歳)	一気呵成
	i悼之意 あいとうのい	「iPhone」の生みの親である、スティーブ・ジョブズ氏の早すぎる死を悼む。 新潟県・橋立 英樹 (44歳)	哀悼の意
	世界最京 せかいさいきょう	日本のスーパーコンピューター「京(けい)」が世界一に。 神奈川県・吉田 美弥子 (32歳) 大阪府・松崎 哲典 (31歳)	世界最強
	贈答虎面 ぞうとうこめん	伊達直人を名乗る人物からの贈り物が全国的に広まった。 大阪府・上田 繁樹 (39歳)	蓬頭垢面
経 済	日中熊交 にっちゅうゆうこう	上野動物園に中国からパンダが来た。 新潟県・橋立 英樹 (44歳)	日中友好
	機器買替 ききかいかえ	地デジ対応のため、TVの買い替えが多かった。 埼玉県・滝沢 亮二 (40歳) 東京都・岩瀧 悦子 (51歳)	奇奇怪怪
	電力供窮 でんりょくきょうきゅう	電力不足となった関東地区で、企業等に節電が要請された。 山口県・原野 秀敏 (39歳)	電力供給
	計欠停電 けいかくていでん	計画停電は、なかなか計画・計算通りにはいかず苦労した。 静岡県・佐々木香公子 (47歳) 熊本県・小塩 博文 (51歳) 熊本県・橋本 信二 (56歳)	計画停電

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
経 済	扇風満帆 せんぷうまんぼん	節電が叫ばれたこの夏、扇風機が飛ぶように売れた。 京都府・吉岡 正博 (55歳)	順風満帆
	超涼格好 ちょうりょうかっこ	スーパークールビズ。暑苦しい背広姿より、チョー涼しげでカッコいい。 東京都・岩瀧 悦子 (51歳)	跳梁跋扈
	円延超高 えんえんちょうだか	超円高続く。 神奈川県・大森 俊二 (78歳)	蜿蜒長蛇
	参否農論 さんびのうろん	TPP参加を巡って、農業に関する議論が白熱。 秋田県・佐藤 和広 (53歳)	賛否両論
政 治	賢泥鱈来 けんどじょうらい	「どじょう」が砂塵を巻き上げて登場。内閣総理大臣に。 千葉県・吉田 泰造 (67歳)	捲土重来
	鱈名披露 しゅうめいひろう	野田内閣発足。「どじょう内閣」と名付けられる。 秋田県・佐藤 和広 (53歳)	襲名披露
	法成復興 ほうせいふっこう	復興基本法が成立。 神奈川県・大森 俊二 (78歳)	王政復古
	府市騒然 ふしそうぜん	「大阪都構想」をめぐる対立する橋下氏と平松氏。大阪市長選で一騎打。 福岡県・矢野 正樹 (59歳) 千葉県・田牧 敏男 (65歳)	父子相伝
国 際 情 勢	欧州憂慮 おうしゅうゆうろ	欧州通貨ユーロ安続く。先行き不安。 神奈川県・大森 俊二 (78歳)	欧州ユーロ
	春渦中東 しゅんかちゅうとう	中東の春。中東では民主主義を求めるデモが渦巻いている。 鹿児島県・佐藤 まり (53歳)	春夏秋冬
	一面泰水 いちめんたいすい	タイで大洪水。被害深刻。 神奈川県・太田 光彦 (38歳) 愛知県・古川 明夫 (63歳)	一衣帯水
	英王栄嫁 えいおうえいか	英国のウィリアム王子結婚。 京都府・永池 典子 (50歳)	栄耀栄華
流 行 ・ 芸 能	我我独尊 ががどくそん	レディー・ガガさんが大人気に。 千葉県・太田 綾子 (35歳)	唯我独尊
	歓韓楽楽 かんかんがくがく	K-POPが人気。 青森県・池田 毅 (58歳)	侃侃諤諤

◆◇◆ 入選作品40編 ◆◇◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
流 行 ・ 芸 能	中央集拳 ちゅうおうしゅうけん	AKB48じゃんけん大会。 三重県・岩崎 邦弘 (50 歳)	中央集権
	寛全燃走 かんぜんねんそう	間寛平さん、アースマラソン完走。お疲れさまでした。 岡山県・須々木 伸介 (42 歳)	完全燃焼
	子群奮闘 こぐんふんとう	天才子役と言われる子どもたちの活躍。 愛知県・松本 広宣 (50 歳)	孤軍奮闘
	楽舞注入 らぶちゅうにゅう	個性的なダンスと決め台詞で、一躍人気者となった楽しんごさん。 北海道・秋岡 正稔 (27 歳)	ラブ注入
	情報掌収 じょうほうしゅうしゅう	携帯電話はスマートフォンが主流になりつつある。 埼玉県・山下 宗久 (54 歳)	情報収集
文 化 ・ ス ポ ー ツ	遺産双属 いさんそうぞく	日本から、新たに二つも世界遺産へ仲間入り。 愛知県・鈴木 宜範 (46 歳)	遺産相続
	魁退進奨 かいたいしんしょう	日本人大関。魁皇関が引退、琴奨菊関が昇進。 東京都・長根 尉 (75 歳) 神奈川県・吉野 健司 (56 歳)	解体新書
	竜終之美 りゅうしゅうのび	落合ドラゴンズが最終年をリーグ優勝で飾った。 徳島県・箕田 大祐 (16 歳)	有終之美
	十年一休 じゅうねんひとやすみ	イチロー選手、200本安打の記録十年で途切れる。 新潟県・橋立 英樹 (44 歳)	十年一昔
	取金広治 とっきんこうじ	世界陸上で、室伏広治選手が金メダルを獲得！ 神奈川県・柴谷 佳寿美 (35 歳)	突貫工事
	偉業三冠 いぎょうさんかん	内村航平選手、世界体操男子個人総合で三連覇。 宮城県・鹿野 尚志 (43 歳)	授業参観
	見事撫子 みごとなでしこ	「なでしこジャパン」のワールドカップでの快挙。 神奈川県・内河 裕信 (52 歳) 東京都・福田 美智代 (32 歳) 東京都・前田 耕一郎 (53 歳) 愛知県・平松 康弘 (48 歳) 京都府・長谷川 進 (63 歳)	大和撫子

審査員コメント

俵 万智 (歌人)

漢字のよさは、ひと目で意味がわかり、凝縮した内容が伝わる場所。たった四つの文字で、きらりと世相を切り取った数々の作品を、今年も堪能しました。

明るいニュースが少なかったなか、「^{さいそくけんび}才足兼美」のなでしこジャパンの活躍は、ほんとうに多くの希望をくれました。「^{じゅくねんさこん}熟年差婚」は、「熟年離婚」という新しい四字熟語からの、さらなる発展形として印象に残ります。

「^{ねんねんさいさい}年々宰宰」「^{ぜっかりょうらん}舌禍繚乱」「^{きんかじゃくやく}金価雀躍」は、もとの四字熟語との意味の響きあい面白く、逆に「^{てんいむほう}天威無法」「^{きろそうぜん}帰路騒然」は、もとの意味との落差に胸が痛みました。「^{でんこうせつか}電考節夏」は、標語にしたいほどの出来栄え。

「^{あいえんぎえん}愛円義援」「^{いっしょうけんめい}一松懸命」。解説のいらぬこの二作品に、多くの人が頷くことでしょう。

(参考資料) 「創作四字熟語」 2011年の出来事 一覧

月	主 な 出 来 事	作 品 例
1	<ul style="list-style-type: none"> ●匿名で寄付を行う「タイガーマスク運動」が全国に拡大。 ●間寛平さん、「アースマラソン」ゴール。2年1カ月で地球一周。 	贈答虎面 (ぞうとうこめん) 寛全燃走 (かんぜんねんそう)
2	<ul style="list-style-type: none"> ●エジプトのムバラク大統領が辞任。反政府デモ拡大で。 	春渦中東 (しゅんかちゅうとう)
3	<ul style="list-style-type: none"> ●「東日本大震災」発生。マグニチュード9.0。政府が激甚災害指定を行う政令を閣議決定。 ●震災で首都圏の鉄道が運休し、「帰宅困難者」が大量発生。 ●九州新幹線が全線開通。 ●東京電力が初の「計画停電」を一部地域で実施。 ●震災に対し、海外からも人的・物的支援相次ぐ。 ●名勝「高田松原」の奇跡の一本松が復興の象徴へ。 ●震災の義援金、466億円超で阪神淡路大震災上回る過去最高ペース。 	天地震迷 (てんちしんめい) 天威無法 (てんいむほう) 帰路騒然 (きろそうぜん) 一軌鹿青 (いっきかせい) 計欠停電 (けいかくていでん) 満援御礼 (まんえんおんれい) 一松懸命 (いっしょうけんめい) 愛円義援 (あいえんぎえん)
4	<ul style="list-style-type: none"> ●上野動物園で3年ぶりパンダ公開。リーリーとシンシンのペア。 ●福島第1原発事故で、原発の半径20キロ圏内が「警戒区域」に。 ●ウィリアム英王とキャサリン妃がウェストミンスター寺院で挙式。 	日中熊交 (にっちゅうゆうこう) 帰郷村望 (ききょうそんぼう) 英王榮嫁 (えいおうえいか)
5	<ul style="list-style-type: none"> ●被災地の連休中ボランティア、延べ8万人に。 ●米歌手レディー・ガガ氏がセレブ番付で初のトップに (フォーブス誌)。 ●人気子役主演ドラマの主題歌とダンスが超人気に。 	福幸支援 (ふっこうしえん) 我我独尊 (ががどくそん) 子群奮闘 (こぐんふんとう)
6	<ul style="list-style-type: none"> ●従来のクールビズより一層の軽装促す「スーパークールビズ」がスタート。 ●「少女時代」のデビューアルバムが海外歌手歴代最高の初週売上を記録。 ●震災の復興対策の柱となる「復興基本法」が成立。復興庁を設置。 ●日本のスーパーコンピューター「京」が計算速度で世界一に。 ●加藤茶さんが45歳年下の女性と入籍。 ●「小笠原諸島」と「平泉の文化遺産」が世界遺産に決定。 	超涼格好 (ちょうりょうかっこ) 歓韓楽楽 (かんかんがくがく) 法成復興 (ほうせいふっこう) 世界最京 (せかいさいきょう) 熟年差婚 (じゅくねんさこん) 遺産双属 (いさんそうぞく)
7	<ul style="list-style-type: none"> ●政府が東京・東北電力管内の大口需要家を対象に「電力使用制限令」発動。 ●東京電力が家庭の節電促す「でんき予報」を開始。 ●松本龍震災復興対策担当相が辞任。被災地発言で引責。 ●サッカー日本女子代表「なでしこジャパン」が、W杯ドイツ大会で初優勝。 ●地上波テレビがデジタル放送に完全移行 (東北3県除く)。 	電力供窮 (でんりよくきょうきゅう) 電考節夏 (でんこうせつか) 舌禍繚乱 (ぜつかりょうらん) 見事撫子 (みごとなでしこ) 才足兼美 (さいそくけんび) 機器買替 (ききかいかえ)
8	<ul style="list-style-type: none"> ●8月の扇風機の出荷額が前年比2.5倍に。日本電機工業会発表。 ●菅直人首相が退陣を正式表明。 ●第95代首相に野田佳彦氏を選出。 ●世界陸上の男子ハンマー投げで室伏広治選手が初優勝。 	扇風満帆 (せんぷうまんぱん) 年々宰宰 (ねんねんさいさい) 賢泥鱸来 (けんどじょうらい) 鱸名披露 (しゅうめいひろう) 取金広治 (とっきんこうじ)
9	<ul style="list-style-type: none"> ●東京工業品取引所の金先物価格が最高値更新。 ●「超低速台風」(12号・15号) 続発。 ●琴奨菊関が大関昇進。魁皇関引退後の日本人横綱・大関不在事態を解消。 ●アイドルグループAKB48の「24th シングル選抜じゃんけん大会」開催。 ●マリナーズイチロー選手、大リーグ連続200安打が11年目で途切れる。 	金価雀躍 (きんかじゃくやく) 滞風溢禍 (たいふういっか) 魁退進奨 (かいたいしんしょう) 中央集拳 (ちゅうおうしゅうけん) 十年一休 (じゅうねんひとやすみ)
10	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーロ急落、約10年ぶり安値1ユーロ=101円50銭台。東京外国為替市場。 ●米電子機器大手アップルのスティーブ・ジョブズ前CEOが逝去。 ●体操世界選手権個人総合で内村航平選手が前人未到の3連覇。 ●プロ野球セ・リーグで、勇退の落合監督率いる中日ドラゴンズが連覇。 ●タイ洪水、首都バンコク9万人に避難勧告。 ●宮城県南三陸町に仮設魚市場が完成。漁最盛期の中、開場式。 ●日銀が、戦後最高値1ドル=75円32銭を受け、過去最大規模の円売り介入。 	欧州憂慮 (おうしゅうゆうろ) i 悼之意 (あいとうのい) 偉業三冠 (いぎょうさんかん) 竜終之美 (りゅうしゅうのび) 一面泰水 (いちめんたいすい) 願晴東北 (がんばんれとうほく) 円延超高 (えんえんちようだか)
11	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンが携帯電話の月間販売台数の7割に。 ●野田首相がAPEC閣僚会合で、TPP交渉に臨む意向を表明。 ●大阪ダブル選挙、維新の会が圧勝。 	情報掌収 (じょうほうしょうしゅう) 参否農論 (さんびのうろん) 府市騒然 (ふしそうぜん)
12	<ul style="list-style-type: none"> ●楽しんごさんの「ラブ注入」が新語・流行語大賞のトップ10入り。 	楽舞注入 (らぶちゅうにゅう)